

東海経済レポート

（2018 年 5 月）

～企業部門、家計部門ともに緩やかな拡大が継続～

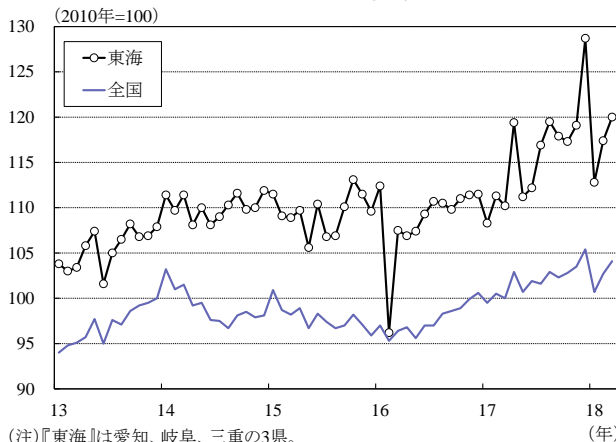
【足元の経済情勢と当面の見通し】

- ◇ 東海経済は緩やかな拡大を続けている。企業部門では、生産が良好な水準にあるほか、輸出も好調を維持している。家計部門では、住宅投資は軟調ながらも、良好な雇用環境の下、個人消費は底堅く推移している。
- 生産は、3 月の鉱工業生産指数が前月比+2.2%と 2 ヶ月連続の上昇。指数はリーマン・ショック前と同程度の水準域で推移しており、電子部品・デバイスや電気機械、輸送機械など、主要業種の生産が総じて増加方向。
- 金属工作機械の受注は、当地区主要 8 社の 3 月の国内受注額が前年比+34.0%と 8 ヶ月連続のプラスとなった。主要業種中、一般機械工業からの受注は 7 ヶ月連続、自動車工業からも 4 ヶ月連続で前年比増加。
- 輸出額（円ベース）は、4 月に前年比+8.7%と 15 ヶ月連続で増加。前年比 2 桁増の EU 向けや 15 ヶ月連続プラスの米国向けをはじめ、中国向け、アジア向けなど主要相手国・地域向けは揃って好調。品目別でも、10 ヶ月連続で前年比 2 桁増の工作機械、9 ヶ月連続でプラスの自動車など、総じて増勢を維持。
- 労働市場では需給の引き締まった状況が継続。3 月の有効求人倍率は、愛知県が 1.93 倍とリーマン・ショック後の最高を更新。岐阜県は 1.97 倍と 1992 年 8 月以来の最高水準まで上昇。三重県もバブル崩壊後の最高を更新。
- 個人消費は、3 月の小売主要 3 業態の販売が前年比+0.3%と 5 ヶ月連続の増加。業態別では、百貨店が 4 ヶ月連続のマイナスとなったものの、スーパーが小幅ながら 5 ヶ月連続のプラス、コンビニエンスストアも 4 ヶ月連続のプラスとなった。一方、3 月の新車販売台数は同▲1.6%と、3 ヶ月連続の前年比減少となった。
- 住宅着工は、3 月に年率換算 7.7 万戸、前年比▲9.1%と 3 ヶ月連続のマイナス。持家、貸家、戸建てのいずれもが、3 ヶ月連続で着工減。

【生産①】

3月の鉱工業生産は前月比+2.2%と、2ヵ月連続の増加。引き続きリーマン・ショック前の水準域で推移。

鉱工業生産指数

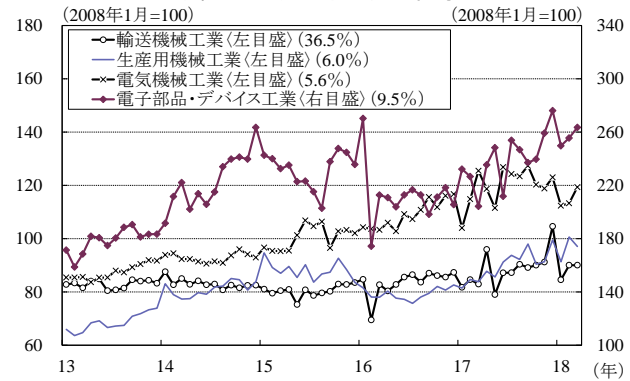


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【生産②】

電子部品・デバイス、電気機械、輸送機械など、主要業種の多くで、前月比生産増となった。

業種別の鉱工業生産(東海)

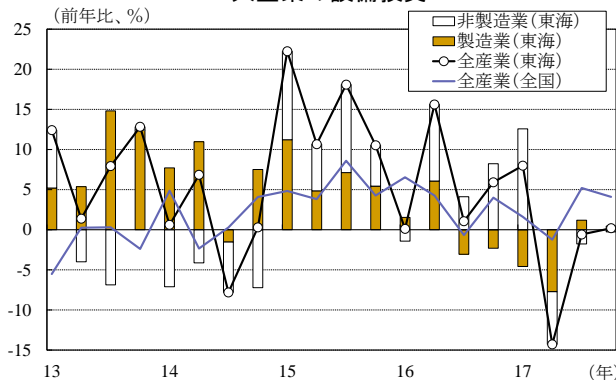


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
2.()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成22年基準。中部経済産業局算出)
(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【設備投資】

昨年10-12月期の大企業の設備投資は前年比+0.2%の増加と、小幅ながら3四半期ぶりにプラス転化。

大企業の設備投資

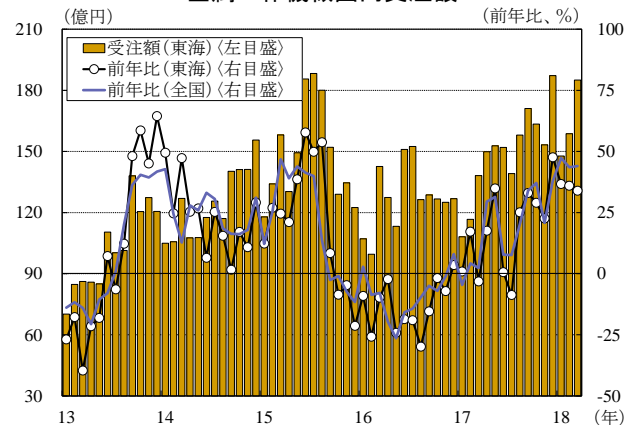


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。
2.資本金10億円以上の企業を対象。
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
(資料)東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額は3月に前年比+34.0%と、8ヵ月連続の増加。

金属工作機械国内受注額

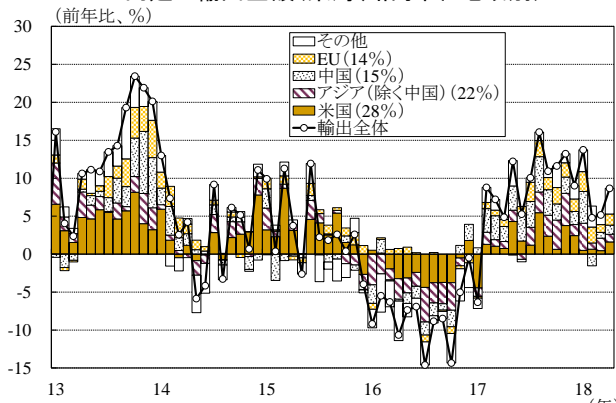


(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【輸出】

4月の輸出額(円ベース)は前年比+8.7%と15ヵ月連続で増加。主要相手国・地域別にも総じて堅調。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

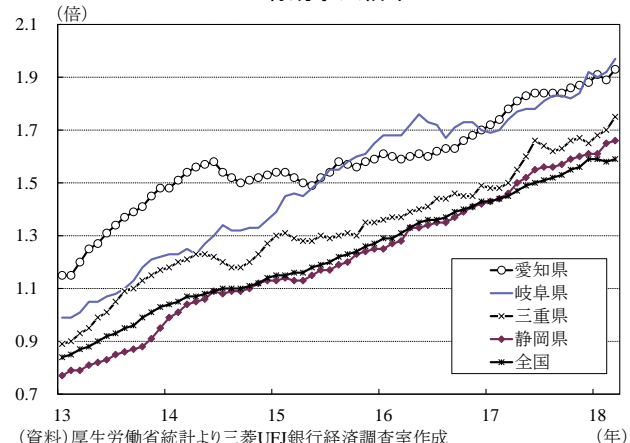


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2.()内の数値は2017年輸出総額に占めるシェア。
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【雇用】

3月の有効求人倍率は、愛知県が1.93倍とリーマン・ショック以降の最高を更新。

有効求人倍率

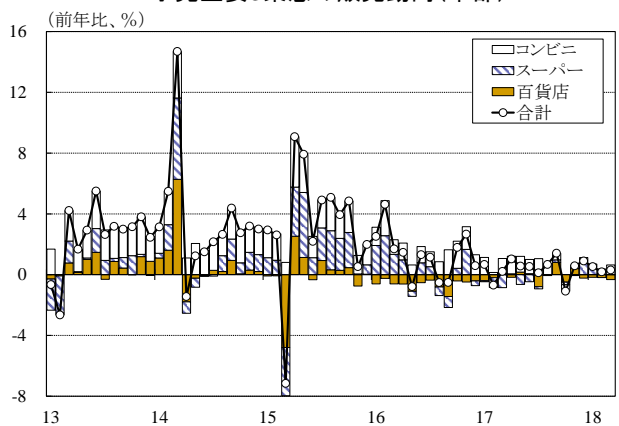


(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【個人消費】

3月の小売主要3業態の販売は前年比+0.3%と5ヵ月連続の増加。コンビニとスーパーが小幅増。

小売主要3業態の販売動向(中部)

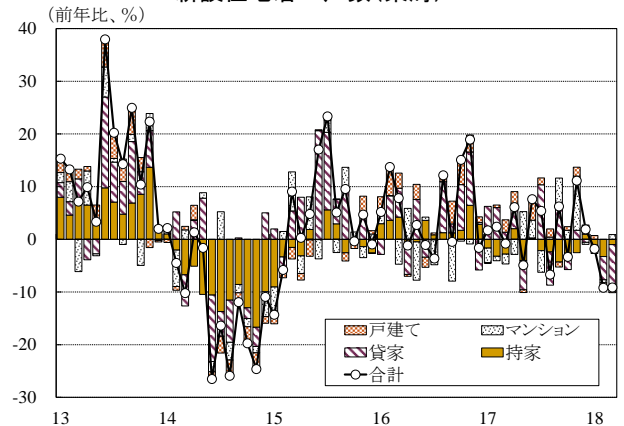


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【住宅投資】

3月の住宅着工戸数は年率換算で7.7万戸、前年比▲9.1%。持家、貸家、戸建てが揃って減少。

新設住宅着工戸数(東海)

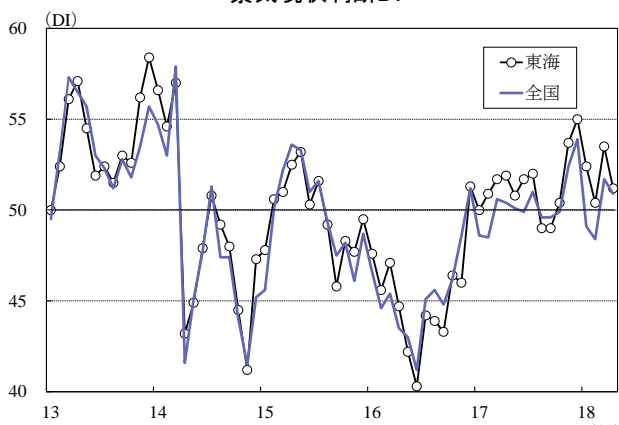


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省東海より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【景気ウォッチャー調査】

4月の現状判断DIは51.2と、2ヵ月ぶりに低下。ただし、水準的には7ヵ月連続で全国を上回る高位。

景気現状判断DI

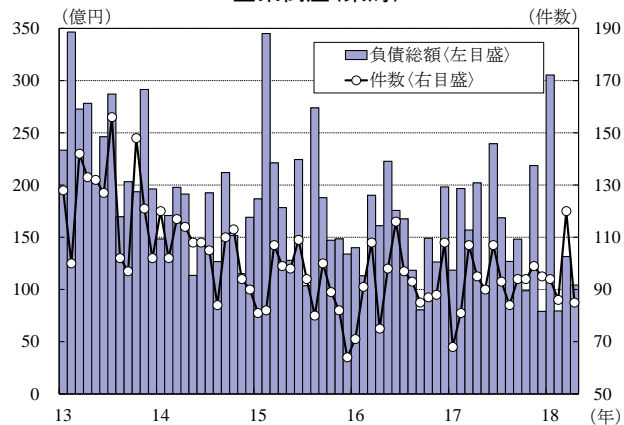


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【倒産件数】

4月の企業倒産件数は85件で、前年比▲10.5%の減少。負債総額は104億円で、同▲48.4%の減少。

企業倒産(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【原油価格】

WTI先物は、米国のイラン核合意離脱と産油国の増産への思惑から、一時1バレル70ドル超へ上昇。

原油価格

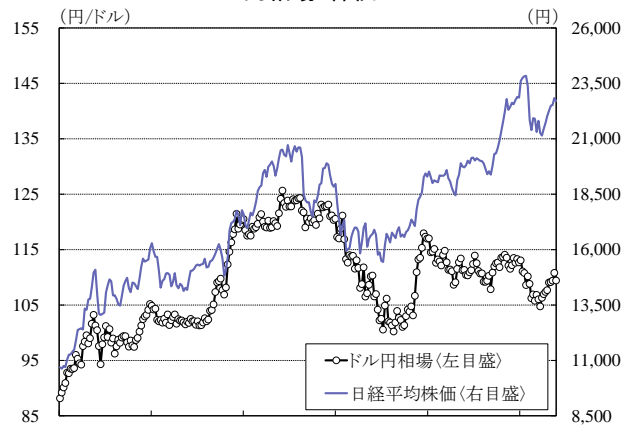


(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

【円相場・株価】

米国の金利上昇等を受けて、ドル高・円安が進行。米中貿易摩擦懸念の緩和等も重なり、株価は上昇。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。